

謝 辞

國分信教授は、昨年度末をもって定年退職されました。國分教授は別掲の経歴ならびに業績一覧にもありますように、高校教諭、学校図書館司書、専門図書館司書、研究員、銀行員、大学非常勤講師、英国留学など多様な職歴を経て、大学教授に就任されました。最初は、鹿児島女子短期大学、鹿児島女子大学の教員ならびに、図書館長として大学に入られ、その後、駿河台大学文化情報学部の開設と同時に、本学に就任されたのです。

その経歴、研究業績を拝見しても分かるように、大変な勉強家であり、学問を愛してきた方です。その結果として、多数の資格をお持ちで、不動産鑑定士の資格はこの制度が始まってから、かなり早い時期に取得されたようです。自動車の運転歴は長く、まだ日本のモータリゼーションが本格的に始まる前から、愛車を駆って、研究会、各種総会などの機会に、日本中を廻っており、車で行かないところはほとんどないほどです。

本学就任後は、図書館情報学、企業記録論など、図書館系と企業系の科目を担当され、その豊富な経歴を生かして講義をしてられました。大学だけを経験した教員よりは、学生にとって新鮮な内容を講じて来られたと思います。特に図書館系での館種を越えた経歴は、豊かな内容の講義となって表れていたことでしょう。また、よく通る声と音量豊かな響きを生かした講義は、騒がしい学生の騒音を凌駕するほどのものであったことでしょう。

多くの学生に慕われていた國分信教授が退職されたのは、寂しいことですが、定年という制度のためですから、仕方がありません。これからは、悠々自適で、書き残した原稿に手を入れ、ご著書の完成を遂げること、あるいは後輩への苦言を呈する寸評をご寄稿下さることなど、様々なご活躍をご期待申し上げて、これまでのご活躍とご指導に対する謝辞とさせていただきます。ありがとうございました。

2003年11月18日

文化情報学部長 戸 田 光 昭